



櫻田 祐子さん(小宮)

結婚をして南相馬市民になりますが、広報を送ってほしいとお願いにきました。村が好きですから今後もちょこちょこ来たいと思っています。

ご結婚おめでとうございます。そして変わらず村に思いを寄せていただき、ありがとうございます。

本号P20で一部結果を掲載している「住民意向調査(速報値)」でも、帰還について「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」世帯の約半数が、「村とつながりを保ちたい」と回答しており、「そう思わない」世帯の約13%を大きく上回っています。また、「戻らないと決めている」世帯の約3割が、その後も広報誌等を提供してほしいと回答しています。村外で暮らす選択をする人の中でも「村とつながりを保ちたい」「村のようすを知りたい」と思う人の少なくないことが分かります。

櫻田さんの場合は「村民でいたいけれど、結婚のため」ということですので、上記にはあたりませんが、ご要望うれしく思います。村は「ネットワーク型の村づくり」を目指しており、村外の皆さんとも力を合わせて、これからの村づくりを進めたいと考えています。

.....



八巻 昭代さん(草野)

自分のことなのに、避難して5年もどうやって過ごしてきたのだろと感じます。またこれから、きちんと落ち着くまでは、不安定な状態が続きますね。

5年を越えて長期化した避難の後に、今度は避難終了後の暮らしに移行することを考えなければならず、村民の皆さんには、それぞれにご苦労やご心労があることと思います。

避難指示解除に備えて、必要な事業を推進したり、解除時期の提案・要望を行ったりと、やるべきことは山積していますが、協議や検討を着実に進め、機を逸することなく判断し、村民の皆さんに、その都度すぐにお知らせをしてみたいです。

いいたて 歳時記
ならわしや季節のあれこれ

その 12

山がっこう

昔の子どもの「山がっこう」は、学校に行ったふりをして、一日中、山で遊んでいることを言っていたそうです。栗を拾ったりアケビを取ったり、木の上にやぐらを組んで基地を作ったりもしました(随分と楽しそうなお話です。昔の子どもがうらやましくなりますね)。

そんな「山がっこう」の魅力を知る今では大人の人たちが、自然と触れ合う体験などを通して子どもたちに生きる喜びや素晴らしさを感じてもらいたいと30年程前に始めたのが「いいたて山がっこう」です。東京都や神奈川県など首都圏の子どもの飯館村にやって来て、村の子どもと一緒にさまざまな体験をしました。農家に宿泊して乳搾りをしたり農作業を手伝ったり。洞くつ探検やナイトハイク、イカダづくりや山歩きなどにも、目を輝かせて挑戦しました。村の子どもと都会の子どもは、一緒に体験を重ねる中で、互いの良い所や、見習って直したい所などを感じ合っていたそうです。それもある素敵な「山がっこう」ですね。



参考:「おばあちゃん、おじいちゃん知恵袋」村教育委員会発行



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
新谷 脩斗くん	晃弘・早美	伊丹沢
今野 結月くん	直樹・麻衣	宮内



すくすくと元気に育ってね

ひとのうごき

(平成28年2月29日現在)

人口	今月(前月比)
男	3083人 (-5)
女	3148人 (-4)
合計	6231人 (-9)
世帯数	1851戸 (±0)

2月1日~29日までの

◆◆人口動態◆◆

転入	3人
転出	10人
出生	4人
死亡	6人
(住民基本台帳人口)	



おくやみ

氏名	年齢	行政区
杉岡 タケ子	88	小宮
伏見 利春	80	草野
大谷 左内	83	上飯樋
石井 フミイ	74	飯樋町
永澤 清	96	飯樋町
大澤 功	67	上飯樋
太田 トミイ	74	宮内

ご冥福をお祈り申し上げます



(2月21日から3月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

編集後記

黒板には「ようこそ菅野村長さん!」の文字が。飯館中学校の1年生有志が開いた「村長さんと語る会」。時々涙声になりながらも、村や同級生の気持ちをくみ言葉を選んで、生徒の皆さんは学校の村内再開についてそれぞれの思いを語りました。「来てくださってありがとうございます!」また話しましょう!国が行う避難指示解除の時期について、村が国に提案すると説明した臨時区長会議。「賛成だ。皆腹をくくったのでは」「放射線への不安に配慮する制度も必要」「農業ができれば」「私は帰って村づくりに再挑戦したい」区長さんたちの真摯な言葉が続きました。恐れずひるまず腹の中を見せ、互いの声を聞き合うこの姿こそが村の誇りです。(星)